

記入例

別記第7号様式(第16条関係)

補助事業等実績報告書

令和 8 年 3 月 3 1 日

(宛先) 周南市長

住所 周南市■■町1丁目23番地

申請者

氏名 ○○○○食堂
代表 周南 太郎

印

※代表者印を省略される場合は、下部の発行責任者及び担当者欄の記載が必要です。

令和7年4月1日付け周あ推第40号により補助金等の交付決定を受けた補助事業等について、周南市補助金等交付規則第16条第1項の規定により、次のとおりその実績を報告します。

1 補 助 年 度	令和7年度	2 補 助 金 等 の 交 付 決 定 の 額	200,000円				
		3 補 助 金 等 の 既 交 付 額	0円				
		4 補 助 金 等 の 精 算 額	200,000円				
5 補 助 金 等 の 名 称	周南市地域がつながるこどもの居場所づくり支援補助金						
6 補助事業等の 名 称	子ども・若者応援事業						
7 補助事業等の 経 費 精 算 額	決 算 総 額 (円)	左 の 財 源 内 訳					
		区 分	市補助金	助成金	参加費	自己資金	
		金額(円)	200,000	20,000	70,800	1,517	
		割合(%)	68.4	6.8	24.2	0.6	
8 着手及び完了 年 月 日	着手 完了	令和 7 年 4 月 1 日 令和 8 年 3 月 31 日					
9 補助事業等の 効 果	この食堂が地域住民の居場所のひとつとなり、一人一人が生きがいを持って生活することができ、活気のある地域づくりにつながった。また、住民同士が交流する拠点となり、地域全体で子どもや高齢者を見守ることができた。						
10 添 付 書 類	(1) 事業実績書 (2) 収支決算書 (3) 完成写真（工事施行等に係る場合） (4) その他（ ）						

発行責任者及び担当者 ※発行責任者と担当者が同一の場合は、発行責任者名欄のみの記載で構いません。

発行責任者名 : 周南 太郎 (連絡先 : 090-0000-0000)
担当者名 : (連絡先 :)

備考 必要に応じて、「周○第 号」を「周南市指令○第 号」に書き換えること(○のところは、主管課の頭文字等を記入すること。)

交付決定通知書から
日付・文書番号を転記
してください

【決算総額】
総事業費から
対象外経費を除いた額

【着手・完了日】
準備や事務処理期間を
含む(申請日以降~実
績報告以前で設定)

【割合(%)】
各収入額÷決算総額
割合の合計が100%に
なるように四捨五入

記入例

別記第7号様式(第16条関係)

補助事業等実績報告書

令和 8 年 3 月 3 1 日

(宛先) 周南市長

住所 周南市■■町1丁目23番地

申請者

氏名 ○○○○食堂
代表 周南 太郎

印

※代表者印を省略される場合は、下部の発行責任者及び担当者欄の記載が必要です。

令和7年4月1日付け周あ推第40号により補助金等の交付決定を受けた補助事業等について、周南市補助金等交付規則第16条第1項の規定により、次のとおりその実績を報告します。

1 補 助 年 度	令和7年度	2 補 助 金 等 の 交 付 決 定 の 額	200,000円				
		3 補 助 金 等 の 既 交 付 額	0円				
		4 補 助 金 等 の 精 算 額	200,000円				
5 補 助 金 等 の 名 称	周南市地域がつながるこどもの居場所づくり支援補助金						
6 補助事業等の 名 称	こども・若者応援事業						
7 補助事業等の 経 費 精 算 額	決 算 総 額 (円)	左 の 財 源 内 訳					
		区 分	市補助金	助成金	参加費	自己資金	
		金額(円)	200,000	20,000	70,800	1,517	
		割合(%)	68.4	6.8	24.2	0.6	
8 着手及び完了 年 月 日	着手	令和7年4月1日					
	完了	令和8年3月31日					
9 補助事業等の 効 果	この食堂が地域住民の居場所のひとつとなり、一人一人が生きがいを持って生活することができ、活気のある地域づくりにつながった。また、住民同士が交流する拠点となり、地域全体でこどもや高齢者を見守ることができた。						
10 添 付 書 類	(1) 事業実績書 (2) 収支決算書 (3) 完成写真（工事施行等に係る場合） (4) その他（ ）						

発行責任者及び担当者 ※発行責任者と担当者が同一の場合は、発行責任者名欄のみの記載で構いません。

発行責任者名 : 周南 太郎 (連絡先 : 090-0000-0000)
担当者名 : (連絡先 :)

備考 必要に応じて、「周○第 号」を「周南市指令○第 号」に書き換えること(○のところは、主管課の頭文字等を記入すること。)

交付決定通知書から日付・文書番号を転記してください

【決算総額】
総事業費から対象外経費を除いた額

【着手・完了日】
準備や事務処理期間を含む(申請日以降～実績報告以前で設定)

【割合(%)】
各収入額÷決算総額
割合の合計が100%になるように四捨五入

記入例

令和7年度 開設準備経費収支決算書

収 入

項目	金額（円）	説明
市補助金	50,000	地域がつながるこどもの居場所づくり支援補助金
自己資金	548	
合計	50,548	

【開設準備費】

こども食堂型の開設 上限 10 万円

居場所型（学習支援・体験の提供）の提供 上限 5 万円

※新規開設年度のほか、

既に活動している団体が、新たに他の活動を開始する
機能強化年度にも申請可能

支 出

項目	金額（円）	説明
工事請負費		
修繕料		
備品購入費	44,000	長机11,000円×2台、椅子5,500円×4
その他	6,548	文房具・教材購入
合計	50,548	

【備品購入費】

税込単価が1万円以上、
または長期で使用する物品

※申請する活動以外での使用不可

【その他開設準備に必要と認められる経費】

長期で使用する消耗品（税込単価が1万円未満、文
房具や教材等）の購入やチラシの印刷費用など

支出の内容が分かる領収書の写しを
添付してご提出ください。

【支出の合計】

収入＝支出とする。

※収入が支出を上回る場合は、補助金が
減額となります。（千円未満切り捨て）

記入例

令和7年度 運営経費収支決算書

収 入

項目	金額（円）	説明
市補助金	150,000	地域がつながるこどもの居場所づくり支援補助金 (こども食堂120,000円、体験活動の提供30,000円)
助成金	20,000	周南市社会福祉協議会助成金
参加費	70,800	こども食堂参加費 大人300円×236食=70,800円
自己資金	969	
合計	241,769	

【運営経費】

こども食堂型の運営 実施回数×1万円（上限12万円）

居場所型（学習支援・体験の提供）の運営

実施回数×5,000円（上限6万円）

【大規模加算（18歳以下が50人以上参加）】

こども食堂型 実績回数×5,000円（上限6万円）

居場所型 実績回数×2,500円（上限3万円）

※助成金や参加費等で収入が十分と認められる場合は申請不可

支 出

項目	金額（円）	説明
報償費	10,000	体験活動 2,000円×5回=10,000円
消耗品費	78,319	こども食堂 55,487円、体験活動 22,832円
教材費		
食材料費	130,450	こども食堂 130,450円
印刷製本費	12,000	チラシ印刷代 1,000円×12回=12,000円
通信運搬費		
保険料	11,000	ボランティア保険料
会場使用料		
賃借料		
光熱水費		
合計	241,769	

【報償費】

外部講師への謝礼金など

※内部のスタッフ等への

謝礼金は補助対象外

【支出の説明】

こども食堂型、居場所型（学習支援・体験）

それぞれの補助上限額を超えないように

注意してください。

帳簿や領収書等の提出は不要

※団体で5年間は保存してください。

【支出の合計】

収入=支出とする。

※収入が支出を上回る場合は、補助金が

減額となります。（千円未満切り捨て）

事業報告書

記入例

名称	〇〇〇〇食堂				
実施場所	■■市民センター		開催時間	9 : 00～12 : 00	
利用料金	こども	0 円		大人	300 円
開催実績	開催日	食事提供数		スタッフ数	①主な食事内容 ②食事以外の実施事業
		大人	こども		
	4月20日	18	28	7	①カレーライス ②自己紹介・交流会
	5月20日	16	25	8	①ハンバーグ
	6月20日	23	35	6	①カレーライス ②ニュースポーツ体験
	7月20日	17	26	8	①ハンバーグ
	8月20日	30	46	8	①カレーライス ②学習支援・水遊び
	9月20日	16	24	9	①ハンバーグ
	10月20日	28	42	7	①カレーライス ②ハロウィンイベント
	11月20日	16	25	8	①ハンバーグ
	12月20日	25	38	8	①カレーライス ②クリスマスイベント
	1月20日	14	22	8	①ハンバーグ
	2月20日	18	27	7	①カレーライス ②昔遊び
	3月20日	15	25	9	①ハンバーグ

合計 12回 236 人 363 人 93 人

事業報告書

記入例

こども食堂を実施して良かった点、特徴的な取り組み内容などについて

- ・ こども食堂の開催をととして、地域のつながりを育むことができた。

苦勞した点、問題点など

- ・ スタッフの人員確保
- ・ 食材の確保

参加者（こどもや保護者）、スタッフの声

- (参加者)
- ・ こどもが無料だと逆に行きづらいので、10円でもいいから料金をとってほしい。
 - ・ こどもだけでも行きやすいような工夫があると嬉しい。

今後のこども食堂活動の展望について

- ・ 持続的に活動していくことができるように、多くの地域の人を巻き込んで活動を実施していきたい。

市への意見・要望等

- ・ 補助金の増額
- ・ 他のこども食堂やイベントとの連携